

地域再生プロジェクトの実施結果調査書

市町村名	幌延町
------	-----

(2年計画のうち 1年目)

1 地域再生プロジェクト実施結果 (プロジェクト全体)

実施主体	市町村名：幌延町 民間団体名：幌延町観光協会	計	1市町村 1団体
プロジェクト名	地域重点プロジェクト	格差の分野：地域経済の格差	
地域重点プロジェクトとの関連性	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	◆ 主な取組 ○ 広域観光ルートの開発、体験・滞在型観光地づくり ○ 情報の発信	
地域の課題及び地域再生プロジェクトの目標	◆ 地域の課題 幌延町の人口は、昭和35年の7,438人をピークにその後は少子化や若年層の流出による急速な過疎化が進行しており、食生活の改善や医療の進歩などによる長寿の進展を背景に高齢化も進んでいる。町財政については行財政改革を進めながらも健全化に向けた取り組みを進めているが、投資的経費の減少も厳しい状況にある。その中で、観光は、『利尻・礼文・サロベツ国立公園』や日本で唯一のトナカイ観光牧場等を有しているが、平成10年度の14万人をピークに年々減少傾向にあり、平成20年度には82千人まで落ち込んでいる。 地域の新たな観光資源として、平成元年から希少価値の高い『ブルーボビーの栽培研究』に取り組んでおり、近年では、探種から開花までのサイクルを確立しているが、開花期間が1ヶ月と限られていることから観光客誘致が難しい。 ◆ プロジェクトの目標 本プロジェクトでは、ブルーボビーを新たな地域の観光資源として位置づけ、開花調整の技術を確立することにより、観光客の申込数向上を図られるとともに、利尻・礼文などと花を共通とした新たな広域観光ルートの開発が期待できる。また、栽培園芸業者が少ないこの種の花の栽培技術を確立している幌延町を道内外に広くPRし、『ブルーボビーの里 幌延町』の知名度向上を図る。 住民等の評価 3つの事業のうち、調査研究事業に関しては現在も進めている状況にあり、まだその成果を確認するには至っておらず、イベント開催についても開花時期の6月開催がかなわず秋口の開催となってしまっただが、一般町民の方々や町外からも来場されており、今後注目を集めるイベントになっていくのではないかとと思われる。 マスコットキャラクター製作・PR事業に関しては日本全国からの公募を募り、町の新たな顔として新キャラクター『ブルービー』が誕生し、HP上での公開や広報誌等にも掲載され、町民の方々をはじめ多くの方々に知られていることから、注目の高さがうかがえる。		
取組の成果	計画に対する達成度 本プロジェクトにおいて、町の特産品であり希少価値の高いブルーボビーを今まで以上に地元はもとより道内外へのPRをしていくことができた。ただし、調査研究事業については年度で区切ることが出来ないことから、今後継続的に進めることが必要と考える。 具体的な効果 ○ 調査・研究事業については、実証実験の場となる水壺の整備により、今後はブルーボビーの開花調整に向けた具体的な調査を進めることが出来る。 ○ キャラクター製作・PR事業についてはブルーボビーの新キャラクターを基にデジタルデザイン並びにストラップの製作までに至り、広くPRすることが出来た。 ○ イベント開催事業については新たな事業として町内外からも多くの来客があり、広くPRすることが出来た。	交付金支援期間終了時の成果目標に対する現時点での達成状況 観光申込客数の3% (3,000人) 増 (H20 82千人⇒H22 85千人) 将来的な成果目標 (概ね10年) 観光申込客数の1.2% (10,000人) 増 (H20 82千人⇒H32 92千人)	
プロジェクト推進上の課題・問題点	課題点等 本プロジェクトでは、ブルーボビーを新たな地域の観光資源として位置付けるために、各事業を推進していく考えであるが、知名度が低い為今後、PR手段や広報宣伝の場を確立することが課題である。 課題を踏まえた今後の展開 ○ ブルーボビーの開花期間が延びること、道北観光スポットの目玉として7月以降も観光客の誘致に期待 ○ キャラクター化すること、グッズ等の作成可能となり、知名度向上と積極的な観光PR活動の実施が可能 ○ 開花時期に開催すること、観光客や地域住民へのPRの場としたい		

2 地域再生プロジェクト構成事業

(1) 実績額について

(単位：千円)

No	事業名 実施主体名	実施期間	年次	事業費	財源				内訳			交付金 要望額
					国庫補助金等	道補助金等	市町村補助金等	委託費	市町村自己財源	民間等自己財源	その他	
1	ブルーボピー調査・研究事業 公	H22 ┌ H23	全体計画	3,436					3,436			3,430
			初年度(H22)	1,533				1,533				1,530
			2年度目(H23)	1,903				1,903				1,900
2	ブルーボピーマスコットキャラクター製作PR事業 公	H22 ┌ H23	全体計画	5,383			4,941		442			5,330
			初年度(H22)	1,936			1,785		151			1,930
			2年度目(H23)	3,447			3,156		291			3,400
3	イベント開催事業 公・民	H22 ┌ H23	全体計画	3,414					3,414			3,340
			初年度(H22)	1,194					1,194			1,140
			2年度目(H23)	2,220					2,220			2,200
4		┌	全体計画									
			初年度()									
			2年度目()									
5		┌	全体計画									
			初年度()									
			2年度目()									
6		┌	全体計画									
			初年度()									
			2年度目()									
計	事業数 [3]		全体計画	12,233		4,941		7,292				12,100
			初年度(H22)	4,663		1,785		2,878				4,600
			2年度目(H23)	7,570		3,156		4,414				7,500

注 1 プロジェクトを構成する全事業の実績について記載すること。
 2 平成21年度以前の地域再生チャレンジ交付金で採択された地域再生プロジェクトは、計画期間に応じて「年次」最下欄に3年度目を追記すること。
 3 「事業費」、「財源内訳」及び「交付金要望額」欄は実績額又は予定額を記載すること。
 4 その他記載に当たっては、別記第2号様式に準じること。

(2) 実施内容について

No	事業名	計画内容	年次	実施状況	効果・課題	今後の展開
1	ブルーポピラー調査・研究事業	雪氷を活用した水室内へ苗の貯蔵を行い、開花期間の延長を図る。	初年度 (H22) 2年度目 (H23) ()	施設整備がされたことで、苗の貯蔵が可能とした。	開花期延長に期待が持てるが、継続した調査が必要。	調査結果より得られたデータを基に課題を整理していく。
2	ブルーポピラーマスコットキャラクター製作PR事業	キャラクター化することでグッズ等の作成可能となり、知名度向上と積極的な観光PR活動を進める。	初年度 (H22) 2年度目 (H23) ()	デジタルデザインを終え、ストリップの製作に至っている。	H/Pや広報誌等に掲載することで話題となっている。	更なるPR活動を広く展開していきたい。
3	イベント開催事業	開花期に開催することで、観光客や地域住民へのPRの場としていきたい。	初年度 (H22) 2年度目 (H23) ()	開花期の開催とはならなかったが、秋口に開催した。	広くPRすることが出来たが、開催時期に課題を残した。	開花期の開催としたい。
4			初年度 () 2年度目 () ()			
5			初年度 () 2年度目 () ()			
6			初年度 () 2年度目 () ()			

注 1 (1)に記載した番号に対応する事業について、プロジェクトの期間を通じて、実施状況及び効果や課題を踏まえた今後の事業展開を記載すること。
 2 平成21年度以前の地域再生チャレンジ交付金で採択された地域再生プロジェクトは、計画期間に応じて「年次」最下欄に3年度目を追記すること。